

水産業界をリードする情報誌

日刊  
速報

# 水産タイムス

THE SUISAN TIMES



発行所 株式会社 水産タイムズ社  
編集発行人 越川宏昭  
〒108-0014 東京都港区芝5-9-6  
TEL03(3456)1411 FAX03(3456)1416  
ホームページ <http://www.suisantimes.co.jp/>  
e-mail [suisan@suisantimes.co.jp](mailto:suisan@suisantimes.co.jp)  
日刊(但し土・日曜・祝祭日休刊)  
購読料 1ヵ月 5,280円(税別 4,800円)  
6ヵ月31,680円(税別28,800円)

2021年(令和3年)  
6月23日(水)第13559号

## 豊洲市場でコロナワクチン職域接種実施へ

東京・豊洲市場で新型コロナワクチンの職域接種がスタートする。

豊洲市場協会(伊藤裕康会長)は21日、市場内従事者を対象とする職域接種を厚生労働省に申請した。すでに接種希望者の集計など、各業界団体との調整を始めており、7月上旬をめどに準備を進め、ワクチンの入手状況に応じて接種を開始する。

### 2ヵ月間で8000人規模を想定

接種対象は原則として卸売業者、仲卸業者、関連事業者など市場内に拠点を置く事業者の従業員。伊藤会長は22日の会見で「コロナの脅威から豊洲市場を守り、安心してお客様に来ていただける市場流通を一日も早く取り戻すため、オール豊洲市場で一本化する。コ



会見する伊藤会長

ロナとの戦いに終止符を打つ第一歩としたい」と今回の職域接種の目的を語った。

接種ワクチンはモデルナ社製。豊洲市場管理施設棟の講堂などを接種場所とする予定で、接種は千代田区内の医療機関が行う。接種人数は約8000人(予定)で、1日400人のペースで約2ヵ月間での完了を見込んでいる。

会見に同席した早山豊副会長は「仲卸棟内で昨年感染者が発生したが、PCR検査の義務化をはじめとする対策の徹底により、その後の感染を抑えた。仲卸業者からも市場内での接種を求める声が多く寄せられた」と説明した。

伊藤会長は「集団免疫を早期に獲得し、従業員の不安解消につなげたい。食を通じた楽しみを取り戻すためにも、スピード感をもって円滑に進めたい」と強調した。

豊洲市場では昨年9月、PCR受検・陽性・濃厚接触者などの報告を義務化。11月には6街区(仲卸売場棟)1階の従事者を対象に自主的なPCR検査を開始した。12月には市場内6カ所に啓蒙横断幕、看板、検温システムを設置するなど、コロナ対策に努めてきた。

- イオン、「選べる土用の丑」提案…………… 2
- 近海カツオ一本釣り漁業がMSC取得…………… 2
- 人工ふ化「琉球すぎ」、7月に本格流通…………… 3
- 東洋水産、黒い豚カレー焼そば発売…………… 3
- ニチレイ株主総会、ロジの位置づけに質問…………… 4
- 「ふくい甘えび」、YouTubeで認知拡大…………… 4
- 日本ROV協会設立、水中ロボ浸透へ…………… 4

## 業界人物スポット

(株)東京シーフーズ

代表取締役社長 やまこし たつお 山越 竜生氏